



# 「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2018年4月7日(土) 9時00分～15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／8名(うち午後のみ3名)、魚住まち協／2名(うち午前のみ1名)、 一般参加者／2名(小・中学生) 事務局／2名 計／14名

## ● 午前

今日の金ヶ崎公園は、朝から曇りがちで西風が吹き、肌寒い中での活動になりました。今月から活動開始が1時間早く朝9時になりましたが、午前中は一般参加の小・中学生2名を含め、11名のメンバーに集まっていただきました。

まず公園の会議室でミーティングをした後、公園内のコースに出て昆虫を中心とした自然観察をしました。季節が逆戻りしたような、気温が低くやや強い風が吹く中で、目当ての昆虫は思ったほど多くは観察できませんでしたが、時おり日差しが届くと、チョウやガ、ハチ、コウチュウなどのなかまのほか、色々な幼虫や蛹の姿を観察することができました。

## ● 午後

午後は、里山整備活動に出ようとしたら雨が降り始めたため、会議室で待機して30分遅れの活動開始となりました。今日は、公園入口付近の竹林の整備と、水路に繁殖している外来植物の除去に取り組みました。

竹林では、周りの里山の雑木林に広がってしまっている、外周部の不要な除伐をしました。今日も、小・中学生の姉弟が除伐作業に頑張ってくれました。

水路では、北米原産のオオフサモを昨年除去したのですが、まだ一部が残っていたらしくまた繁茂を始めていたので、改めて除去しました。そのほかに、増えすぎたキショウブなども間引きました。

今日も、ケガなどの事故もなく、定刻の午後3時に無事に活動を終了しました。

- 次回の活動は5月12日(土)の予定です。通常の第一土曜日ではなく、第二土曜日になりますのでご注意ください。爽やかな新緑の中での活動に、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

自然観察(その1)



自然観察(その2)



自然観察(その3)



竹林整備作業(その1)



竹林整備作業(その2)



水路の外来植物除去作業



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日の自然観察は、4月にしてはやや肌寒い天気のために、あまり多くの昆虫は観察できませんでしたが、少ない種類ながらチョウ、ガ、ハチ、コウチュウなどのなかまが姿を見せました。その中で、クロコノマチョウは、ウスイロコノマチョウではないかとも思われ議論になりましたが、生息域から判断して翅の色が薄い個体のクロコノマチョウだという結論になりました。

クロコノマチョウ



春型のナミアゲハ



シャチホコガのなかま



シロスジヘナガハナバチ



ビロウドツリアブ



アブのなかま?



ゾウムシのなかま



ヨモギハムシ



アメンボのペア



今日の観察会では、色々な幼虫や蛹も観察できました。残念ながら種名の判別ができませんが、そのいくつかを紹介します。

幼虫(その1)



幼虫(その2)シャクガのなかま?



アオスジアゲハの蛹



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

野鳥では、冬鳥の姿がすいぶんと少なくなってきたようです。それでもツクミがまだ残っていました。そのほかにエナガやアオジ、キジバト、モズが姿を見せ、ふもとの北浦池ではカイツブリを観察しました。

桜の花びらに囲まれるツグミ



エナガ



アオジ



キジバト



モズ



カイツブリ



植物では、春の花がいくつも咲いていました。ヤマザクラやコバノミツバツツジ、ヤマツツジ、イチヨウ、イロハモミジ、ミヤマガマズミなどの樹木が、若葉とともに花やつぼみをつけていました。またアケビは、白い花と赤紫色の花を咲かせる2種類を確認しました。ホトケノザやヒメオドリコソウ、スマレのなかまなどの草花も咲いていました。

キノコのなかまも2種確認しました。1種はアミガサタケ(?)で、もう1種は名前不明です。

ヤマザクラ



コバノミツバツツジ



ヤマツツジ



イチヨウの若葉とつぼみ



イロハモミジの若葉と花



# MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

ミヤマガマズミの花



白い色のアケビの花



赤紫色のアケビの花



ホトケノザ



ヒメオドリコソウ



スマレーその1:ノジスミレ?



スマレーその2:アリアケスミレ?



アミガサタケ?



名前不明のキノコ

